

# 生徒心得と注意事項

鶴ヶ島市立藤中学校指導相談部

【生徒心得】	【主な注意事項】
<p><b>1 服装</b></p> <p>(1) 標準服</p> <p>① 藤中学校指定のものを着用する。</p> <p>② 夏季：上着を脱ぎ、ネクタイをはずす。 冬季：上着とネクタイを着用する。</p> <p>③ 標準服に飾りを付けたり、加工したりしない。</p> <p>④ 標準服の下には、ワイシャツを着用する。</p> <p>⑤ ワイシャツの色は白。ボタンダウンや開襟シャツは着用しない。</p> <p>⑥ ワイシャツの下にインナーとして、柄入りや黒以外の色つきのものは着用しない。ハイネックや長袖のインナーが見えてはいけない。</p> <p><b>※衣替えはなく、自分の判断で夏服・冬服を正しく着用する。</b></p> <p>(2) 名札</p> <p>○ 藤中学校指定のものを、校舎内で左胸に付ける。</p> <p>(3) 通学靴</p> <p>① 体育授業時に使用できる、標準的な運動靴とする。</p> <p>② 天候に応じて雨靴を使用してもよい。</p> <p>③ くつの色は自由とする。</p> <p>(4) 上履き</p> <p>① 各学年所定の色の上履きを使用する。</p> <p>② 靴には、はっきりと黒で記名する。</p> <p>(5) くつ下</p> <p>① 流行にとらわれず運動に適したソックスとする。</p> <p>② 靴下の色は白か黒とする。ワンポイントが入ってもよいが、柄は不可。</p> <p>(6) ベルト</p> <p>○ 黒系統か茶系統とし、模様や飾りのない標準的なものとする。</p> <p>(7) セーター・カーディガン・タイツ</p> <p>① 正しい着こなしをすれば着用してもよい。</p> <p>② V首のものとする。</p> <p>③ 色は、紺・黒・グレーとする。ワンポイントが入ってもよいが、ラインは不可。</p> <p>④ タイツは黒・紺に限り着用してよい。</p>	<p>⇒ズボン：下げすぎない（ウエストの位置） スカート：短すぎない （膝で立った時に裾が床に触れる長さ）</p> <p>⇒襟元やネクタイの結び目がだらしなくならないように。 夏季：ワイシャツの第1ボタンは開けてもよい。 冬季：ワイシャツの第1ボタンをとめ、それが見えないようにネクタイをしめる。</p> <p>⇒ワイシャツをズボンの外に出さない。 ⇒先生の指示により、体育着で授業を受ける場合もある。 ⇒黒のインナーは可。但し、見えないように着る。</p> <p>⇒朝の会前に付け、帰りの会でははずす ※給食のときに回収する場合もある。</p> <p>⇒体育の授業で常に使用出来るもの。 トレーニングシューズ○ マジックテープの物○ スパイク×、ハイカット×</p> <p>⇒踵をつぶして履かない。（通学靴も同様） ⇒ひもをしっかり結んで履く。 ★上履きを忘れた場合、貸し出し用の上履きを職員室で借りる。帰りに必ず返却する。</p> <p>⇒革製・布製は問わない。 バックルに飾り× ベルト部分に模様入り×</p> <p>⇒寒暖を考え、授業中ブレザーを脱いで授業を受けてもよい。 （廊下に出る時など休み時間は上着を着る） 裾が上着から出る× 袖口がてのひらにかかる×</p> <p>⇒タイツは体育着から見えている状態での着用はしない。ジャージを履く。</p>

## (8) 防寒着

- ① 登下校の防寒着としてハーフコート及び、部活動または学校指定のウィンドブレーカーの使用を認める。また②に定めるようなコートの使用を認める。
- ② ハーフコートの形は、スクールコートや飾りのないダッフルコート・Pコートとし、色は黒、茶、グレー、紺を基調としたもので、丈はひざぐらいまでのものとする。  
※着用上の注意として下記の点に注意する。
  - 責任を持って、ロッカー等に保管すること。
  - 名前を記入すること。
  - 着用期間を守ること。
  - 教室内では着用しないこと。
  - 高価な物は使用しないこと。
  - ボタン（ファスナー）をきちんとすること。
  - ポケットに手を入れて歩行しないこと。  
(危険を回避する上で守る。)

## 2 頭 髪

### (1) 髪型及び髪の長さ

- ① 学校生活に支障をきたさないものとする。
- ② 清潔ですがすがしいものとする。  
(流行に流されない)

### (2) 長さのめやす

前髪・・・目にかからない程度。

後髪・・・肩に届いたら結ぶ。

### 《禁止事項》

- ① パーマや髪を染めるなどの加工をしない。
- ② 整髪料等は使用しない。
- ③ 髪を束ねるゴムは、黒、紺、又は茶色とし、飾りはつけない。

## 3 所持品

### (1) 通学バッグ

- ① 背負い式、または肩掛け式のバッグとし、両手が空く物とする。
- ② ①で足りない場合、サブバッグを使用してもよい。
- ③ バッグには、わかりやすい場所に記名する。

### (2) 教科書等

・教科書等は、各自で判断し適切に保管する。

### (3) 現金

・必要（集金等）以外は持ってこない。

### (4) 水筒

- ① 中身は、水、お茶類、スポーツドリンクとする。
- ② 休み時間、昼休み以外は飲まない。
- ③ 必ず水筒に入れる。（ペットボトル不可）

⇒ コートの着用は各自の判断で  
ロングコートのようなひざが隠れるもの×  
ベンチコートのようなひざが隠れるもの×  
ダウンジャケット×

⇒ マフラー、手袋に指定はない。  
ネックウォーマー○  
帽子×  
耳あて×

⇒ 本来であれば昇降口で防寒着はすべて脱ぐ。しかし、本校では昇降口が全学年同じで登下校時は混雑の恐れもあるため、コートやウィンドブレーカーは教室で脱いでもよい。ただし、手袋やマフラーは昇降口で外せるとよい。  
\* 登下校時以外でコートやウィンドブレーカーを着用する場合の脱着はすべて昇降口とします。

⇒ ピアスは不可（穴を開けない）

⇒ 眉に手を加えない。※散髪の際そろえないように散髪屋、美容室の人に言うこと。

⇒ 標準的な黒のヘアピン○  
極端に多量に使用×  
パッチンドメ×

⇒ 髪を束ねるゴム  
極端に幅の広いものや太いもの×  
装飾的に使用されているもの×  
指定されている色以外×

⇒ 所持品には必ず記名。

⇒ ジャージ・体育着等も入り、防水・撥水性に優れる物で、耐久性があり、3年間使用に耐えられるものが良い。

⇒ サブバッグとして  
トートバックや紙袋○  
ポシェットやポーチの類×

⇒ 必要以上にストラップ等は付けない

★ 集金等が提出できなかつた者は、朝の会が終わるまでに、必ず教師に提出。  
持っているということがないようにする。

【紛失事故防止】

⇒ 年間を通して持ってきてよい。

⇒ 休日の部活動、大会等ではペットボトル可

<p>(5)その他</p> <p>①携帯電話・時計・貴重品・アクセサリ・化粧品等は持ってこない。</p> <p>②雑誌や遊び道具等、学習に必要なのものは持ってこない。</p> <p>③学校の許可がないものは持ってこない。</p> <p><b>4 生活</b></p> <p>(1)登下校</p> <p>①徒歩通学とする。</p> <p>②通学路を厳守する。</p> <p>③原則として標準服を着用する。ただし、部活動の関係から、朝活動前の登校、午後活動後の下校については、ジャージまたは、部活動で使用している服装でもよい。</p> <p>④登下校時刻を守る。        &lt; 8 : 30までに学用品の整理を済ませ、自分の席に着く &gt;</p> <p>(2)校 内</p> <p>①チャイムの合図で授業時間のけじめをつけ、集中して学習に取り組む。</p> <p>②常に校内の美化・整理整頓に努める。</p> <p>③登校後、校外に出ない。</p> <p>④昼食以外の飲食はしない。</p> <p>⑤持ち物は全て自分で責任もって管理する。</p> <p>⑥生徒心得を守り、規律正しい生活を送る。</p>	<p>⇒ハンドクリーム、リップクリームについて        無着色、無香料、薬用の物○        色つき、匂いつき×</p> <p>⇒以下の物は使用を許可している。        日焼け止め○        無香料の制汗スプレー○        無香料の汗ふきシート○        ※使用はトイレ等。教室内では不可。</p> <p>※マスクの色は問わない</p> <p>⇒不要物は持ってこない。        間違えて持ってきてしまった場合は担任に相談し、そのままにしない。</p> <p>⇒交通ルールをきちんと守る。        ⇒時間にゆとりを持って登校する。        ★遅刻・欠席・早退については連絡票や生徒手帳、C4thを使用する。緊急の場合は、電話連絡でも良いから、保護者から連絡を入れてもらう。(8:15までに)電話連絡する。        ★登校してから物を取りに帰ることは禁止。        ⇒下校途中で立ち話をして帰宅が遅れることがないように。また、下校途中で友人宅等に立ち寄るのも禁止。</p> <p>⇒時間を意識して行動。        チャイムより時間を意識する。        ⇒ゴミを出さないように心掛ける。        ⇒忘れ物を取りに帰ることは禁止。        ※電話が職員玄関脇に設置されている。        家庭等に連絡する必要がある場合は、使用してよい。        ⇒弁当は部活動ごとに指定された場所で食べる。        ⇒生徒手帳を常に携行。        身分証明証を兼ねるので大切に管理する。        ※紛失した場合は速やかに先生に申し出る。</p> <p>その他        ・学年、学級単位で体育館等に移動する場合        1, 2年生は中央階段、3年生は西階段を使用する。【事故防止の為】</p>
---	---